

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人函館地域産業振興財団研究開発等事業補助金	開始 年 度	昭和61年度
団 体 名	公益財団法人函館地域産業振興財団	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	公益財団法人函館地域産業振興財団研究開発等事業補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当該法人が、道立工業技術センターの施設、試験分析機器、研究員の知見等を活用して、地域の企業等が行う新技術や新製品開発、製造工程における技術的な諸問題などを解決するための研究開発や技術相談、技術研修事業等に対し、道と市、北斗市、七飯町で補助を行うもの。
目 的	(目 的) 地域のものづくり企業等の技術の高度化を図る。
・ 効果	(効 果) 地域企業等の技術開発の取り組みに対し、各分野に渡る研究開発や技術相談、技術研修等を行うことにより、企業の技術水準、技術開発意欲を高め、地域経済の活性化を図る。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	計	
		市	その他					
収 入	R3 (決算)	106,969 [106,969]	115,061 [115,061]				222,030 [222,030]	
	R4 (決算)	121,424 [121,424]	131,659 [131,659]				253,083 [253,083]	
	R5 (決算)	102,681 [102,681]	110,395 [110,395]				213,076 [213,076]	
	R6 (決算)	107,401 [107,401]	112,266 [112,266]				219,667 [219,667]	
	R7 (予算)	122,495 [122,495]	126,679 [126,679]				249,174 [249,174]	
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		計
		R3 (決算)	174,340 [174,340]		47,690 [47,690]			222,030 [222,030]
R4 (決算)		199,221 [199,221]		53,862 [53,862]			253,083 [253,083]	
R5 (決算)		164,032 [164,032]		49,044 [49,044]			213,076 [213,076]	
R6 (決算)		161,820 [161,820]		57,847 [57,847]			219,667 [219,667]	
R7 (予算)		193,443 [193,443]		55,731 [55,731]			249,174 [249,174]	

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人函館地域産業振興財団研究開発等事業補助金
----------------	----------------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当財団は、函館地域の高度技術に立脚した産業開発を促進し、北海道の産業経済の発展に寄与することを目的に設立された団体である。本補助金は財団が管理運営を行っている道立工業技術センターの高度技術普及事業および財団の一般管理運営事業に対し交付するものであり、地域経済の発展に繋がる公益性の高い事業である。
2	必要性(補助しなければならぬ事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公益性が高く、地域の産業振興を図るために必要な事業であり、本補助金は、事業遂行に必要な不可欠な研究員の人件費や運営費への補助であることから今後も補助の継続が必要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設立当初から、財団の管理運営経費は、道と市が負担する委託料・補助金で賄われてきた。また、道・近隣自治体、民間企業等からの出捐により造成した基金の運用益を基に公益事業を行っているが、利率の低下により運用益が低下する中、現状では収益事業の実施は困難である。しかしながら、企業との共同・受託研究の受入や国の補助事業の活用など、自主・自立に向けた努力を行っている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公益上必要があると認められた事業に対する支出であり、補助金が適当である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	益財団法人函館地域産業振興財団研究開発等事業補助
----------------	--------------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

昭和61年の施設開設当初から、財団が管理運営を担っている道立工業技術センターは、函館地域に欠くことの出来ない公設民営の試験研究機関であり、道と市からの委託事業による基礎研究をベースとして、これまで地域企業等に対する技術指導や共同研究のほか、実際に事業化、製品化に至った事例が数多くある。しかしながら、これらの成果は企業ニーズやシーズに左右されるほか、複数年に渡る共同研究の結果などから生み出されるものであり、こうした成果を単年度毎に、定量的に目標設定することは困難である。

(達成状況)

H15～H20年度に実施した文科省の「都市エリア産学官連携事業」に続き、H21年度からの文科省補助事業である「マリノバイオクラスター事業」においても、財団が中核機関となって大きな役割を果たしたところである。マリノバイオクラスターによる商品化数は200品目以上となり累計売上額は100億円を超え、その経済効果額は220億円以上と推計されている。また、工業技術センターの試験分析を利用したり、技術支援を受けていた2企業が、H25年度から26年度にかけて、同センターに隣接するテクノパークに工場を新設するなど、立地を推進する役割も果たしている。さらにH26年度からは、「創業支援事業」の取り組みを市と共同で行うなど、単なる試験研究機関の枠組みに留まらず、創業・技術相談から、技術支援、新技術・新製品開発、出口としての販路拡大、工場建設への支援など、企業の立場に立った一連のサポート体制を有し、地域の産業活性化のための幅広い活動に積極的に取り組んでいる。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	道と市が共同で、本補助金や委託料によりセンターの研究開発の業務経費や財団の管理運営経費を負担することにより、財団の運営が維持され、上記(達成状況)に記載したとおり様々な成果が生まれ、地域の産業活性化に貢献している。
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 令和5年度中に、地域負担の考え方を人口比にするべく見直しを行ったところであり、当面は、現行の補助制度を継続することとする。 (見直しの時期)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和9年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	